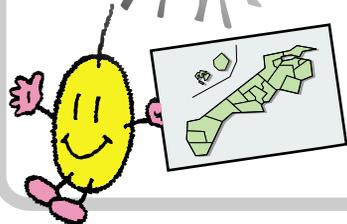


しまねいきいきねっと

(財)ふるさと島根定住財団

(しまね県民活動支援センター)



松江事務局
松江市朝日町478-18
松江テルサ3F
tel : 0852-28-0690
e-mail : shimane@teiju.or.jp

石見事務所
浜田市相生町1391-8シティパルク浜田2F
石見産業支援センター「いわみぶらっと」内
tel : 0855-25-1600
e-mail : iwami@teiju.or.jp

平成21年度

第2回地域活性化活動支援事業 募集中!

「地域活性化活動支援事業」では、地域活性化につながる事業で「事業自体の継続性と効果の継続性がともに見込まれる」ものを対象に支援します。まずはご相談ください。

12月18日(金)
申請締め切り

ジャンプアップ事業 (自立・本格稼働型)

- 対象団体: 県内の民間団体やグループ、企業、NPO法人等
- 対象事業: 地域の活性化と団体の自立的経営に資する活動で、これから規模を拡大し、本格的に開始・グレードアップする活動
- 助成率: 対象事業費の2/3以内
- 対象経費: 謝金・旅費・施設設備費・原材料費等
- 助成額等: 300万円以下(2年以内)

ステップアップ事業 (立ち上がり・取り掛かり型)

- 対象団体: 県内の民間団体やグループ(法人格を持たない準備段階の団体)及びNPO法人
- 対象事業: 地域の元気づくりのために団体自らが実施する継続的な各種活動で、団体の立ち上がり期の活動や新規の活動
- 助成率: 対象事業費の2/3以内
- 対象経費: 謝金・旅費・施設設備費、原材料費等
- 助成額等: 100万円以下(1年以内)

問合せ・申請先
ふるさと島根定住財団 (担当: 石川・下中)
TEL: 0852-28-0690 FAX: 0852-28-0692
E-mail: shimane@teiju.or.jp

定住財団ホームページで
交付要綱や申請書をダウンロードできます。
⇒ <http://www.teiju.or.jp>



100円からできる ボランティア

中国ろうきんNPO寄付システムのご案内

当財団と中国労働金庫が協働して行なう「中国ろうきんNPO寄付システム」。地域の課題解決に取り組むNPOに確実に寄付者の“想い”を届ける制度です。

寄付者って誰のこと?

⇒中国労働金庫に普通預金口座を開設されているお客様です。活動分野への寄付(例:環境保全、まちづくり)とおまかせコース(全17分野)があり、1年に1回審査委員会で選考された団体へ配分されます。

普通の寄付とはここが違う!

地域住民の(課題解決に)、
地域住民による(寄付を使い)、
地域住民のための(活動に活用される)
寄付システムです。

※寄付金交付の募集については
vol. 21(12月号)にてご案内
予定です。

【問合せ・申込先】

中国ろうきん営業店(または
組合ろうきん窓口)

HP: <http://www.chugoku.rokin.or.jp/>



助成金&イベント情報



助成情報



イベント情報



募集情報



2010年度 防災教育 チャレンジプラン

~12/21

防災教育チャレンジプランでは全国で取り組まれつつある防災教育の場の拡大、品質向上に役立つ共通の資産をつくり新しいチャレンジをサポートします。

- 締切日:12月21日(月)
 - 支援内容:プランの実施に係る経費の提供(上限30万円)、報告会等の発表者1名分の交通費・旅費の支給
 - 対象団体:防災教育充実を考える学校、地域団体(NPO、行政機関)等で、報告会に出席できる団体
- 問合せ:防災教育チャレンジプラン実行委員会事務局
FAX:03-3589-1703
E-mail:cpinfo2865@bosai-study.net



積水ハウスマッチング プログラム

~12/22

「積水ハウスマッチングプログラムの会」では、従業員有志による積立金と積水ハウスからのマッチングギフトの実施により持続可能な社会の構築に寄与する社会的活動を支援します。

- 締切日:12月22日(火) 当日消印有効
 - 支援内容:「積水ハウスこども基金」、「積水ハウス環境基金」によるプログラム助成(上限200万円)と基盤助成(インフラ整備や会員拡大等に助成、上限20万円)
 - 対象団体:活動に継続性がある団体(3年以上)
- 問合せ:積水ハウスマッチングプログラムの会事務局
〒531-0076 大阪市北区大淀中1丁目1-88
梅田スカイビル タワーイースト
TEL:06-6440-3440 FAX:06-6440-3369



平成22年度 障がい者福祉助成事業

~12/31

財団法人ヤマト福祉財団では障がいのある人もない人も、共に働き、共に生きていく社会の実現を目指して活動する団体を支援します!

- 締切日:12月31日(木) 当日消印有効
 - 助成金額:1件当り上限100万円(障がい者の工賃向上や自立と社会参加に直結する事業を優先します)
 - 対象団体:社会福祉法人、NPO法人等
 - 助成活動:障がい者施設の設備、備品購入への助成、各種会議、出版、調査への助成等4事業
- 問合せ:財団法人ヤマト福祉財団(福祉助成金事務局)
〒104-0061 東京都中央区銀座2-12-15
TEL:03-3248-0691 FAX:03-3542-5165



平成22年度 しまね女性ファンド

~2010
1/15

公益信託しまね女性ファンドではしまねの女性が自主的・主体的に企画実施する活動を支援します!

- 締切日:2010年1月15日(金) 当日消印有効
 - 助成金額:上限50万円を対象経費の2/3を助成
 - 対象団体:島根県内の女性中心に活動する民間団体
 - 対象活動:①魅力ある地域づくり、②男女共同参画社会づくり、③次代を担う人づくり等の4分野
- 問合せ:公益信託しまね女性ファンド事務局
〒694-0064 島根県大田市大田町大田イ236-4
島根県立男女共同参画センター「あすてらす」
TEL:0854-84-5514 FAX:0854-84-5589



さんさん第2回講演会 「発達障害の理解」

12/6

さんさん第2回目の講演会を開催します!医療の役割についてNPO法人療育センター燦々理事長の佐藤比登美が講演予定です。皆様、お誘い合わせの上ご参加ください!

- 日時:12月6日(日) 10:00~12:00
 - 会場:出雲市立平田図書館2階 視聴覚ホール(出雲市平田町2110-1)
 - 定員:100名(定員になり次第締め切り)
 - 参加料:会員500円 一般1000円
- 問合せ:NPO法人療育センター燦々
〒691-0001 出雲市平田町2944-1
FAX:0853-63-5604



風の子学習館 クリスマス会開催

12/6

風の子学習館では毎年恒例のクリスマス会を開催します!クリスマスにちなんだ体験学習やわくわくバンドさんによるコンサートで盛り上がりましょう!

- 日時:12月6日(日) 10:00~16:00
 - 会場:手引ヶ丘公園 風の子学習館(出雲市多伎町口田儀458番地1)
 - 内容:体験学習(フィンランドのクリスマス人形作りやミニケーキ作りなど)、イベント(クリスマスコンサート、ビンゴゲーム)、屋台(綿がし、ポップコーンの販売)等
- 問合せ:手引ヶ丘公園 風の子学習館
TEL:0853-86-3644
URL:<http://www.kazenoko-taki.com/index.html>



こころを育む 総合フォーラム2009

12/14

夢と希望と豊かな心を育むまちづくりと題し、平成21年度こころを育む総合フォーラム2009in松江を開催します!園児たちによるハンドベル合同演奏やよさこいカンパニーなど見どころいっぱいです。ご来場、お待ちしております。

- 問合せ:こころを育む総合フォーラム実行委員会
TEL:0852-27-8388 FAX:0852-24-1020

- 日時:12月14日(月)13:00~16:00
 - 会場:松江市総合文化ホール(プラバホール)
 - 参加費:無料
 - 内容:国際日本文化研究センター名誉教授の山折哲雄氏による基調講演、原田美穂子氏(松江市教育委員)遠山敦子氏(パナソニック教育財団理事長)を交えたシンポジウムの開催
- ※申込締切日:12月3日(木)

島根 で頑張る人

子どもと同じ目線 いつまでも大切に

「年相応」という言葉が嫌いな坂本さん。「たとえば40歳なら40歳らしくしなさいというフレーズ。気持は自由でいてもいいと思う。子どもがしゃがんで物を観察するように私もしたい。」興味を持つと周りが見えなくなることも。「数年前にデパートで迷子になり、事務局長に呼び出されたこともある」と笑う。

小学生のころから保育士を目指していた。転勤が多く、友達と離れるのは辛かったが、今思うと友達が増えるいい経験だったと振り返る。大人になるにつれ、子



今一押しのおそとであそぼ!」事業の様子

もが自然環境から離れていくことに疑問を抱いた。結婚後、保育から子どもへの社会貢献やボランティア活動に興味に移っていった。

松江おやこ劇場の運営委員長や劇場県協議会メンバーとして「豊かな子ども時代」の支援を経てNPO法人しまね子どもセンターを立ち上げた。目標は「県内の子どもの育ちを応援する団体。」

設立した頃は全国各地で小学生の殺人事件や高校生のバスジャックなど青少年犯罪が頻発。「子どもたちが、育ちにくい、辛い社会」になった。「子どもの育ち」に危機感を覚え、(今の子どもたちに)自立した大人になってほしいと活動を続けている。

「はじめてのおしばい」で子どもが声を出して笑ったり驚いたりする姿は微笑ましい、お母さんにとっても好影響だという。

「後継者育成が多くの団体の課題ですが？」と尋ねると、「団体維持のための活動は考えていない。後継者がいなければ今のメンバーで終わりかも。」との答え。数年前に活動休止・解散を考えた時期からそう考え始めたそうだ。「センターを卒業しても、やりたい事を見つけても、生涯“子ども”に関わりたい。」

“島根で頑張る人”は島根県で活動する人にスポットライトを当て、考え方や経験から団体活動に迫るコーナーです。スタッフの「学び」も兼ねて取材させていただいています。



NPO法人

しまね子どもセンター 理事長 坂本 和子さん

島根県邑智郡出身。島根県立大学在学中におやこ劇場の会員になり、就職・結婚後には運営委員長を務めた。11年前にNPO法人しまね子どもセンターを設立、理事長に就任。

NPO法人

しまね子どもセンター

「子どもが健やかに育つ地域づくり」を目指して1999年に設立。現在「子どもを支援するためには、一番身近な環境にいる親への支援も」のコンセプトで活動中。今年度「県民いきいき活動奨励賞」を受賞。島根県大田市。HPはこちら↓
<http://www.iwami.or.jp/kodomo/>

地域づくりアドバイザー派遣事業

Q. 地域づくりアドバイザー派遣って？

A. 地域活性化に取り組む民間団体、NPO、学生グループ等の要請に応じて専門知識・経験を有するアドバイザーを派遣し、指導・助言を行なう制度です。

Q. アドバイザーって団体で探すの？

A. 特定のアドバイザーが決まっていなければ一緒にアドバイザーの選定から職員がお手伝いします。アドバイザーが決まっていれば具体的な内容や日程をご相談ください。

Q. 何回、何時間受けられるの？費用は？

A. 1団体につき最大4回、計16時間の派遣が可能です。費用については派遣に対する謝金及び旅費を財団の規定に基づきアドバイザーにお支払いします。

たとえば・・・

・地域のお年寄りが作る無農薬野菜・米の余りを活用し、多くの人に安心・安全な食事を提供したい！
どんなメニューなら商品化できる？

⇒米粉・野菜を使った調理方法、メニュー開発の指導ができる料理専門家を派遣

・高齢化の進む地域で草刈労力軽減のため、羊の放牧を始めた。羊毛を加工・活用するための技術を教えてほしい！

⇒手紡ぎ・染色の技術者を派遣

問合せ・申込先

(財)ふるさと島根定住財団

〈松江事務局〉担当:陰山

〈石見事務所〉担当:河野

TEL:0852-28-0690

TEL:0855-25-1600

FAX:0852-28-0692

FAX:0855-25-1630

ご存知ですか？

専門相談

NPOの運営に関する法律や会計・財務などの諸問題に対して、専門的な対応が可能な相談窓口を設置し、NPO等の支援を行っています。

過去の相談例

- ・現在認定NPO法人ではないが、どのような認定要件があるか？
- ・今年法人化。第1期目の決算申告の作業は何をしたらいいの？

相談実施日時:相談者と専門相談員両者の希望日(調整に時間を要する場合もあり)

相談可能回数:1年度に3回、各1時間程度

相談費用:無料

相談場所:ふるさと島根定住財団内交流サロン

※駐車場料金等は自己負担になります。

申込み方法:HPから専門相談申込書をダウンロードし、記入の上郵送、FAX、E-mailでお申し込み下さい。申込み書をFAXすることも可能ですので、まずはご相談ください。

申込み先:(財)ふるさと島根定住財団

定住支援課(担当:藤原)

FAX:0852-28-0692

shimane@teiju.or.jp(タイトルに「専門相談」と記載して下さい。)

図書紹介

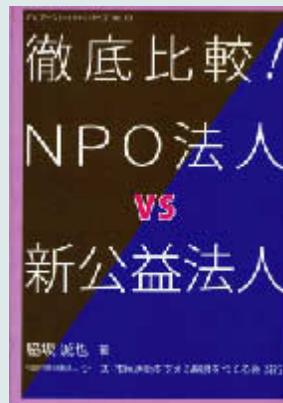
当センターではNPO法人、地域づくり団体や任意団体・個人向けの図書を貸し出しています。NPOの設立の方法から海外の地域づくり団体の事例報告まで、本の内容は様々です。今回はお勧めの本を1冊紹介します。



また、しまね県民活動支援センターでは皆さんの読みたい本の情報を募集しています。“置いてあったらいいな”という本がありましたら是非お知らせください。

徹底比較！NPO法人VS新公益法人 (協坂誠也 著)

2008年12月に施行された新公益法人制度。NPO法人と何がどのように違うのか？そもそも社団法人や財団法人との関係性はあるのか？このような質問に図や比較表で答え、各章にまとめ表が付いている。最終章に「法人の選択」があり、これから法人化を考える団体にぴったりの1冊。質問1つに対して1ページで簡潔に答えが書いてある分かりやすさも魅力。



制作スタッフ日記

11月にはいり、松江は急に寒くなってきました。これから季節性のものを含むインフルエンザや風邪を引きやすくなります。うがい手洗いの徹底や体を温めるなどして、お体にお気をつけください。



藤原

また先月の地域づくり団体マネジメント研修には多数ご参加をいただき、ありがとうございました。地域課題の解決に近づくヒントやツールを持ち帰っていただけいたら幸いです。第2回研修は来年3月に開催予定ですので、こちらもご参加頂ければと思います。開催が近くなりましたらお知らせいたしますので、ぜひご参加ください。

掲載情報募集

地域づくり団体・NPO法人の皆さんからの掲載情報を募集しています。イベント告知・スタッフ募集など何でも構いません。毎月20日発行ですので10日ごろまでに定住財団まで、e-mail、fax、郵送などでご連絡ください。情報紙に掲載できない場合でも、ホームページに掲載可能です。下記のサイトもご参照ください。

⇒しまね地域ポータルサイト
「だんだん」
<http://shimane.canpan.info/>

⇒県民活動応援サイト
「島根いきいき広場」
<https://www.shimane-ikiiki.jp/>

